2030年のSDGｓ達成に向けた取組み

公益財団法人　熊本県環境整備事業団（エコアくまもと）　（南関町下坂下）

1 事業者の紹介（事業内容・沿革）

産業廃棄物の適正な処理行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与することを目的とし、平成２８年３月から受入を開始した公共関与産業廃棄物管理型最終処分場。

2 取組の内容

①二酸化炭素排出量の把握と管理

受入廃棄物１ｔ当たりの二酸化炭素排出量の2020年度レベルの維持

電気使用量12.52kg-CO2/t　重機燃料1.71kg-CO2/t

②環境教育、施設見学におけるオンライン対応を含めた訪問者数の増加

2020年度　684人　→　2030年度　2,000人

③労働災害ゼロの継続

2020年度　0人　→　2030年度　0人

3 取組のきっかけ・経緯

当事業団の設立目的である「産業廃棄物の適正な処理を行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与すること」が、SDGｓの理念と同じ方向を目指すものであったため。

4 取組の効果

①二酸化炭素排出量の把握と管理

電気使用量　94.27kg-CO2/t

重機燃料　4.59kg-CO2/t

②環境教育、施設見学におけるオンライン対応を含めた訪問者数の増加

2023年度　1,140人

③労働災害ゼロの継続

2021年度～2023年度　0件

5 今後の展望

職員一人一人が当事業団の設立目的及びSDGｓの理念を自覚し、行動に移すことにより、ＳＤＧｓの達成に貢献したい。

該当する目標

覆蓋施設屋根太陽光パネル

小学４年生の環境学習

地元小学校へのホタル教育支援（環境学習の一環）